

Cisco DNA Center プラットフォーム リリース 2.3.4.0 リリースノート

初版：2022 年 9 月 21 日

最終更新：2022 年 9 月 21 日

Cisco DNA Center プラットフォーム 2.3.4.0 リリースノート

このドキュメントでは、Cisco DNA Center プラットフォーム 2.3.4.0 の機能、制限およびバグについて説明します。

概要

Cisco DNA Center は、そのネイティブ機能の上に構築可能な付加価値アプリケーションを作成するために、シスコのお客様とパートナーが使用できる拡張可能なプラットフォームを提供します。Cisco DNA Center プラットフォームの次の機能を活用し、エンドツーエンドの IT プロセスを最適化し、総所有コスト (TCO) を削減し、新しい価値ネットワークを開発することで、全体的なネットワークエクスペリエンスを高めることができます。

- インテント API
- 統合フロー
- イベントサービスおよび通知サービス

Cisco DNA Center プラットフォーム 2.3.4.0 の新機能

以下は、Cisco DNA Center プラットフォーム 2.3.4.0 の新機能です。

新しい API 機能

Cisco SD-Access API

この Cisco DNA Center プラットフォーム リリースでは、Cisco SD-Access デバイスのリストを取得、作成および削除するための **SDA API** の新しいオプションがサポートされています。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/business/sda/transit-peer-network
Cisco SD-Access トランジットネットワークの詳細を取得します。
- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/business/sda/transit-peer-network
Cisco SD-Access トランジットネットワークを作成します。

- DELETE <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/business/sda/transit-peer-network
Cisco SD-Access トランジットネットワークを削除します。

新しい SDA API にアクセスするには、メニューアイコン (☰) をクリックし、[Platform] > [Developer Toolkit] > [APIs] を選択します。

[Connectivity] ドロップダウンリストを展開し、[SDA] を選択します。

ワイヤレス API

この Cisco DNA Center プラットフォーム リリースでは、アクセスポイント構成とアクセスポイントの再起動のためのワイヤレス API の新しいオプションがサポートされています。

Cisco DNA Center プラットフォーム は、アクセスポイント構成用に次のワイヤレス API をサポートしています。

- GET<cluster-ip>/dna/intent/api/v1/wireless/access-point-configuration/task/{taskId}
アクセスポイント構成タスクの結果を取得します。
- GET<cluster-ip>/dna/intent/api/v1/wireless/access-point-configuration
アクセスポイント構成を取得します。
- POST<cluster-ip>/dna/intent/api/v1/wireless/access-point-configuration
アクセスポイントを構成します。

Cisco DNA Center プラットフォーム は、アクセスポイントの再起動用に次のワイヤレス API をサポートします。

- GET<cluster-ip>/dna/intent/api/v1/device-reboot/apreboot/status
アクセスポイントを再起動します。
- POST<cluster-ip>/dna/intent/api/v1/device-reboot/apreboot
攻撃対象の MAC アドレスを許可リストに追加します。

新しいワイヤレス API にアクセスするには、メニューアイコン (☰) をクリックし、[Platform] > [Developer Toolkit] > [APIs] を選択します。

[Connectivity] ドロップダウンリストを展開して、[Wireless] を選択します。

Cisco DNA Center システムプラットフォーム API

Cisco DNA Center プラットフォーム は、次の Cisco DNA Center システムプラットフォーム API をサポートしています。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/dnac-release
Cisco DNA Center リリースのサマリーを取得します
- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/global-pool
Cisco DNA Center ノード構成のサマリーを取得します

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/dnac-release

Cisco DNA Center パッケージのサマリーを取得します

新しいプラットフォーム API にアクセスするには、メニューアイコン (☰) をクリックし、**[Platform]** > **[Developer Toolkit]** > **[APIs]** を選択します。

[Cisco DNA Center System] ドロップダウンリストを展開し、**[Platform]** を選択します。

Cisco DNA Center システムユーザーとロール API

Cisco DNA Center プラットフォームは、次の **Cisco DNA Center システムユーザーとロール API** をサポートします。

- POST <cluster-ip>/dna/system/api/v1/user
Cisco DNA Center システムの新しいユーザーを追加します。
- GET <cluster-ip>/dna/system/api/v1/roles
Cisco DNA Center システムのすべてのロールを取得します。
- GET <cluster-ip>/dna/system/api/v1/user
Cisco DNA Center システム内のすべてのユーザを取得します。
- GET <cluster-ip>/dna/system/api/v1/role/permissions
Cisco DNA Center システムからロールの権限を取得します。
- GET <cluster-ip>/dna/system/api/v1/user
外部ユーザー認証サーバーを取得します。
- PUT <cluster-ip>/dna/system/api/v1/user
Cisco DNA Center システムのユーザーを更新します。

新しいユーザーとロール API にアクセスするには、メニューアイコン (☰) をクリックし、**[Platform]** > **[Developer Toolkit]** > **[APIs]** を選択します。

[Cisco DNA Center System] ドロップダウンリストを展開し、**[User and Roles]** を選択します。

問題 API

Cisco DNA Center プラットフォームは、次の **Cisco DNA Center 問題 API** をサポートしていません。

- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/execute-suggested-actions-commands
推奨アクションコマンドを実行します。

新しい問題 API にアクセスするには、メニューアイコン (☰) をクリックし、**[Platform]** > **[Developer Toolkit]** > **[APIs]** を選択します。

[Know Your Network] ドロップダウンリストを展開し、**[Issues]** を選択します。

イベント管理 API

Cisco DNA Center プラットフォームは、次の **Cisco DNA Center イベント管理 API** をサポートしています。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/event/webhook
ウェブフックの接続先を取得します。
- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/event/syslog-config
syslog の接続先を取得します。
- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/event/email-config
電子メールの接続先を取得します。
- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/event/snmp-config
SNMP 接続先を取得します。

新しい**イベント管理 API** にアクセスするには、メニューアイコン (☰) をクリックし、**[Platform] > [Developer Toolkit] > [APIs]** を選択します。

[Event Management] ドロップダウンリストを展開します。

ネットワーク設定 API

Cisco DNA Center プラットフォームは、次の **Cisco DNA Center ネットワーク設定 API** をサポートしています。

- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/global-credential
デバイスのログイン情報の詳細を取得します。
- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v2/service-provider
サービスプロバイダーの詳細を取得します。
- GET <cluster-ip>/dna/intent/api/v2/network
SNMP、NTP、ネットワーク AAA、クライアントとエンドポイント AAA、および/または DNS センターサーバーの設定を取得します。
- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v1/global-credential
デバイスのログイン情報を作成します。
- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v2/credential-to-site/{siteId}
デバイスのログイン情報をサイトに割り当てます。
- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v2/network/{siteId}
DHCP、Syslog、SNMP、NTP、ネットワーク AAA、クライアントとエンドポイント AAA、および/または DNS センターサーバー設定のネットワーク設定を作成します。
- POST <cluster-ip>/dna/intent/api/v2/service-provider
サービス プロバイダー プロファイル (QoS) を作成します。

- PUT <cluster-ip>/dna/intent/api/v2/service-provider
サービス プロバイダー プロファイル (QoS) を更新します。
- PUT <cluster-ip>/dna/intent/api/v2/service-provider
DHCP、Syslog、SNMP、NTP、ネットワーク AAA、クライアントとエンドポイント AAA、および/または DNS センターサーバー設定のネットワーク設定を更新します。
- PUT <cluster-ip>/dna/intent/api/v2/service-provider
デバイスのログイン情報を更新します。
- DELETE<cluster-ip>/dna/intent/api/v2/sp-profile/\${spProfileName}
サービス プロバイダー プロファイル (QoS) を削除します。
- DELETE<cluster-ip>/dna/intent/api/v1/global-credential/\${id}
デバイスのログイン情報を削除します。

新しいネットワーク設定 API にアクセスするには、メニューアイコン (☰) をクリックし、**[Platform] > [Developer Toolkit] > [APIs]**を選択します。

[Site Management] ドロップダウンリストを展開し、[Network Settings] を選択します。

新しい [Reports] GUI 機能

Cisco DNA Center プラットフォームのサポートが拡張され、デバイス分類インサイトに関する [Client Detail] レポートが次のように強化されました。

- [Select File Type] ウィンドウで、[Client Detail] レポートは Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ の次のデバイス分析フィールドをサポートします。
 - Device Form
 - Device Vendor
 - OS
 - ファームウェア バージョン



(注) [Client Detail] レポートにデバイスフォームが表示されるのは、デバイス分析が Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ IOS-XE リリース バージョン 17.6 以降でサポートされている場合のみです。それ以外の場合、[Device Form] フィールドには、それぞれのデバイスのデータが表示されません。

詳細については、『[Cisco DNA Center Platform User Guide](#)』の「**Run a Compliance Report**」を参照してください。

新しいレポート

ポート回収表示レポート

このリリースでは、最終使用時間に基づいたポートレベルの詳細に関する詳細情報を提供する新しいポート回収表示レポートがサポートされています。

- **ポート回収表示レポート**は、次の基準に基づいて生成されます。
 - Device Name
 - デバイス ファミリ
 - デバイスタイプ (Device Type)
 - IP アドレス
 - ポート名
 - 説明
 - MAC アドレス (MAC Address)
 - 管理ステータス (Admin Status)
 - 動作ステータス (Operational Status)
 - 最後の入力
 - 最後の出力
- サポートされるレポートファイル形式には、CSV、TDE、JSON があります。
- [Setup Report Scope] ウィンドウの [Port Reclaim View] レポートには、次のスコープに基づいたポートの詳細が表示されます。
 - Device Family
 - Device Name
- [Schedule Report] ウィンドウで使用可能なスケジュールオプションは、[Run Now]、[Run Later (One-Time)]、および [Run Recurring] です。



(注) [Run Later (One-Time)] オプションは、日付と時間の間隔、および時間範囲のタイムゾーン (GMT) をカスタマイズするために使用します。

[Run Recurring] オプションは、タイムゾーン (GMT) とともに日時をスケジュールするために使用します。

[Port Reclaim View] レポートにアクセスするには、メニューアイコン (☰) をクリックし、**[Report] > [Reports Templates] > [Inventory]**を選択します。

[Report] ウィンドウで、[Port Reclaim View] を選択します。

[Port Reclaim View] の詳細については、『Cisco DNA Center Platform User Guide』の「Port Reclaim View」を参照してください。

デバイスの CPU およびメモリの使用率レポート

このリリースは、管理対象デバイスの上位 N の CPU およびメモリ使用率に関する詳細情報を提供する新しいデバイスの CPU およびメモリの使用率レポートをサポートします。

- デバイスの CPU およびメモリの使用率レポートは、次の基準で生成されます。
 - デバイス名
 - デバイスの IP アドレス
 - デバイス ファミリ
 - デバイス ロール
 - デバイス モデル
 - 最小、最大、および平均 CPU の数
 - 最小、最大、および平均メモリの数
- サポートされるレポート ファイル フォーマットには、CSV があります。
- [Setup Report Scope] ウィンドウの [Device CPU and Memory Utilization] レポートには、以下に基づいて上位 N の CPU およびメモリの使用率の詳細が表示されます。
 - ロケーション
 - デバイス ファミリ
 - デバイス ロール
 - ソート (Sort by)
 - 制限 (N)
- [Schedule Report] ウィンドウでは、[Last 3 Hours]、[Last 24 Hours]、[Last 7 Days]、[Last 30 Days]、[Last 90 Days] および [Custom] の時間範囲オプションを使用できます。



(注) [Custom] オプションは、日付と時間の間隔、および時間範囲のタイムゾーン (GMT) をカスタマイズするために使用します。

[Device CPU and Memory Utilization] レポートにアクセスするには、メニューアイコン (☰) をクリックして、[Report] > [Reports Templates] > [Network Devices] を選択します。

[Report] ウィンドウで、[Device CPU and Memory Utilization] を選択します。

[Device CPU and Memory Utilization] の詳細については、『[Cisco DNA Center Platform User Guide](#)』を参照してください。

インターフェイス使用率レポート

このリリースでは、インターフェイス使用率メトリックの詳細情報を提供する新しい[Interface Utilization] レポートがサポートされています。

- [Interface Utilization] レポートは、次の基準で生成されます。
 - デバイス名
 - IP アドレス
 - デバイス ロール
 - Site
 - インターフェイス名
 - 最小、最大、および平均の Tx の数
 - 送信エラー率
 - 最小、最大、および平均 Rx の数
 - 入力エラー率
 - 入力破棄率
 - 送信破棄率
- サポートされるレポート ファイルフォーマットには、CSV があります。
- [Setup Report Scope] ウィンドウの [Interface Utilization] レポートには、次の項目に基づいたインターフェイス使用率の詳細が表示されます。
 - ロケーション
 - ソート (Sort by)
 - ソート順序
 - 制限 (N)
- [Schedule Report] ウィンドウでは、[Last 3 Hours]、[Last 6 Hours]、[Last 9 Hours]、[Last 12 Hours]、[Last 24 Hours] および [Custom] の時間範囲オプションを使用できます。



(注) [Custom] オプションは、日付と時間の間隔、および時間範囲のタイムゾーン (GMT) をカスタマイズするために使用します。

[Interface Utilization] レポートにアクセスするには、メニューアイコン (☰) をクリックして、**[Report] > [Reports Templates] > [Network Devices]**を選択します。

[Last 24 Hours] ウィンドウで、[Interface Utilization] を選択します。

[Interface Utilization] の詳細については、『[Cisco DNA Center Platform User Guide](#)』を参照してください。

AP RRM イベントレポート

このリリースでは、アクセスポイントごとにグループ化された、経時的な AP RRM イベントに関する詳細情報を提供する新しい [AP RRM Events] レポートがサポートされています。

- [AP RRM Events] レポートは、次の基準に基づいて生成されます。
 - イベント時間
 - [AP Name]
 - AP MAC Address
 - AP IP アドレス
 - 接続された WLC 名
 - 周波数
 - イベントタイプ
 - 前のチャンネル
 - 現在のチャンネル
 - 前の電力
 - 現在の電力
 - 前のチャンネル幅
 - 現在のチャンネル幅
 - 理由
 - Last Failure Reason
 - DCA の理由
 - Site
 - ロケーション
 - 帯域
 - 開始時刻 (Start Time)
 - 終了時間 (End Time)

- タイムスタンプ
- サポートされるレポートファイル形式には、CSV、TDE、JSON があります。
- [Setup Report Scope] ウィンドウの [AP RRM Events] レポートは、次のスコープに基づいてレポートの詳細を提供します。
 - 参照先
 - AP 名
 - イベント タイプ
 - 帯域
- [Schedule Report] ウィンドウでは、[Last 3 Hours]、[Last 24 Hours]、[Last 7 Days]、[Last 30 Days] および [Custom] の時間範囲オプションを使用できます。



(注) [Custom] オプションは、日付と時間の間隔、および時間範囲のタイムゾーン (GMT) をカスタマイズするために使用します。

[AP RRM Events] レポートにアクセスするには、メニューアイコン (☰) をクリックし、**[Report] > [Reports Templates] > [Access Point]**を選択します。

[Report] ウィンドウで、[AP RRM Events] を選択します。

[AP RRM Events] の詳細については、『[Cisco DNA Center Platform User Guide](#)』の「**Run an Access Point Report**」を参照してください。

パフォーマンスと安定性の改善

いくつかのバグを解決し、Cisco DNA Center プラットフォームのパフォーマンスと安定性が向上しました。

Cisco DNA Center のスケール

Cisco DNA Center のスケールの数値については、*Cisco DNA Center* のデータシート <https://www.cisco.com/c/en/us/products/cloud-systems-management/dna-center/datasheet-listing.html> を参照してください。

Cisco DNA Center プラットフォームのインストール

Cisco DNA Center 2.3.4.0 をインストールする場合は、Cisco DNA Center プラットフォーム 2.3.4.0 もインストールします。Cisco DNA Center プラットフォームの個別のインストール手順は不要になりました。Cisco DNA Center のインストール方法については、[Cisco DNA Center 設置ガイド](#)を参照してください。

インストール後、slide-in pane の [Platform] をクリックして Cisco DNA Center プラットフォームにアクセスします。SUPER-ADMIN-ROLE のユーザは、Cisco DNA Center プラットフォームにアクセスできます。SUPER-ADMIN-ROLE のユーザとしてログインすると、Cisco DNA Center プラットフォームの機能を表示し、GUI を使用してアクションを実行できます。NETWORK-ADMIN-ROLE と OBSERVER-ROLE は、Cisco DNA Center プラットフォームの機能が制限されます。



- (注) Cisco DNA Center プラットフォームの以前のバージョンをすでにインストールしている場合は、現在の Cisco DNA Center のリリースを 2.3.4.0 にアップグレードして、最新のリリースにアップグレードすることもできます。Cisco DNA Center プラットフォームの個別のアップグレード手順は不要になりました。

統合設定の設定

ファイアウォールなどのルールが、Cisco DNA Center と Cisco DNA Center プラットフォームと通信する必要があるサードパーティ製アプリケーションの間に存在する場合は、[Integration Settings] を設定する必要があります。Cisco DNA Center の IP アドレスが、インターネットや外部ネットワークに接続する別の IP アドレスに内部的にマッピングされる場合には、このような事例が発生します。



- 重要** Cisco DNA Center のバックアップおよび復元後、[Integration Settings] ウィンドウにアクセスし、(必要に応じて) 次の手順を使用して [Callback URL Hostname] または [IP Address] を更新する必要があります。

始める前に

前のセクションの説明に従って Cisco DNA Center プラットフォーム をインストールしておきます。

手順

ステップ 1 メニューアイコン (☰) をクリックして選択します[System]>[Settings]>[System Configuration]>[Integration Settings] の順に選択します。

ステップ 2 サードパーティ製アプリケーションが Cisco DNA Center プラットフォームと通信するときに接続する必要がある [Callback URL Hostname] または [IP Address] を入力します。

- (注) [Callback URL Hostname] または [IP Address] は、Cisco DNA Center に内部的にマッピングされている外部向けホスト名または IP アドレスです。3 ノードクラスタセットアップの VIP アドレスを設定します。

ステップ 3 [Apply] をクリックします。

Cisco DNA Center プラットフォームのアップグレード

Cisco DNA Center 2.3.4.0 にアップグレードすることで、以前のリリースから Cisco DNA Center プラットフォーム 2.3.4.0 にアップグレードできます。Cisco DNA Center プラットフォームの個別のアップグレード手順は不要になりました。Cisco DNA Center のアップグレードについては、[Cisco DNA Center アップグレードガイド](#)を参照してください。



- (注) SUPER-ADMIN-ROLE のユーザは、Cisco DNA Center プラットフォームにアクセスできます。SUPER-ADMIN-ROLE のユーザとしてログインすると、Cisco DNA Center プラットフォームの機能を表示し、GUI を使用してアクションを実行できます。NETWORK-ADMIN-ROLE と OBSERVER-ROLE は、Cisco DNA Center プラットフォームの機能が制限されます。

バグ

未解決のバグ

次の表に、このリリースの Cisco DNA Center プラットフォーム で未解決になっているバグを示します。

表 1: Cisco DNA Center プラットフォーム 2.3.4.0 の未解決のバグ

| バグ ID 番号 | 見出し |
|----------------------------|--|
| CSCwc36165 | Cisco DNA Center は、PagerDuty に正常に送信されたイベントを示します。ただし、PagerDuty はほとんどのイベント通知を認識しません。 回避策 ：現時点では回避策はありません。 |
| CSCwc35114 | レポートを実行すると、Cisco DNA Center は次のエラーを含む空白のレポートを生成します。 Duplicate entries found for bapiName Client Data Report 回避策 ：現時点では回避策はありません。 |
| CSCwc35018 | ビジネス API を使用してクライアント サマリー レポートを実行すると、Cisco DNA Center プラットフォーム で次のエラーが表示されます。 BAPI Execution Failed.Response Code = 500, Response Content=null 回避策 ：現時点では回避策はありません。 |
| CSCvt29199 | Cisco DNA Center がアシュアランスイベントの件名が正しくない電子メールアラートを送信します。 回避策 ：現時点では回避策はありません。 |

制限事項と制約事項

以降のセクションでは、このリリースの制限事項および制約事項について説明します。

IP Address Manager の統合

次に、Cisco DNA Center と IP Address Manager の統合に関する制限事項と回避策を示します。

- Infoblox
 - Infoblox には名前属性が表示されません。したがって、Infoblox のコメントフィールドには、同期中に IP プール名が入力されます。
 - プールのインポートでは、コメントフィールドの最初の 50 文字が使用されます。コメントにスペースがある場合は、アンダースコアに置き換えられます。
 - インポートされたプールの IP プール名が更新されると、コメントが上書きされ、新しい名前が反映されます。
- BlueCat : 現時点では BlueCat の統合に伴う制限はありません。

レポート

重要なデータを含むレポートが Cisco DNA Center プラットフォーム で生成できないことがあります。このような場合は、フィルタを使用してレポートサイズを縮小し、このような障害を防ぐことを推奨します。

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[シスコサービス](#) にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[シスコ サポート](#) にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco DevNet](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

Cisco Bug Search Tool

[シスコバグ検索ツール \(BST\)](#) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

マニュアルに関するフィードバック

シスコのテクニカルドキュメントに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

Cisco DNA Center プラットフォームのリソースおよびドキュメンテーション

次の表に、Cisco DNA Center プラットフォームの運用を開始するときに使用できるリソースとドキュメントを示します。

表 2: Cisco DNA Center プラットフォームのリソースおよびドキュメンテーション

| リソース | リンク |
|--|--|
| <p><i>Cisco DNA Center</i> プラットフォーム ユーザガイド</p> <p>Cisco DNA Center プラットフォーム GUI を使用する場合は、このガイドを参照してください。</p> | <p>Cisco DNA Center Platform User Guide [英語]</p> |
| <p><i>Cisco DNA Center ITSM</i> 統合ガイド</p> <p>このガイドは、Cisco DNA Center プラットフォーム と ServiceNow の運用を開始する場合に使用します。</p> | <p>Cisco DNA Center ITSM 統合ガイド</p> |
| <p><i>Cisco DNA Center</i> プラットフォームの概要</p> <p>このリソースを使用して、インテント API と統合 API に関する概要情報を参照します。</p> | <p>Cisco DNA Center プラットフォームの概要</p> |
| <p><i>Cisco DNA Center</i> プラットフォームインテント API スタートアップガイド</p> <p>インテント API と Cisco DNA Center プラットフォーム の運用を開始する場合は、このリソースを使用します。</p> | <p>Cisco DNA Center プラットフォームインテント API スタートアップガイド</p> |
| <p><i>Cisco Code Exchange</i></p> <p>シスコのテクノロジーに関連するコードリポジトリ。</p> | <p>Cisco Code Exchange</p> |

関連資料

Cisco DNA Center の参照ドキュメントとして以下をお勧めします。

| | |
|---|--|
| 情報のタイプについては、 | このドキュメントを参照してください... |
| リリース情報（新機能、制限事項、未解決および解決済みのバグなど）。 | Cisco DNA Center Release Notes [英語] |
| Cisco DNA Center のインストールと設定（設置作業を含む）について。 | Cisco DNA Center Installation Guide [英語] |

| | |
|--|--|
| 情報のタイプについては、 | このドキュメントを参照してください... |
| Cisco DNA Center の最新リリースに関するアップグレード情報。 | Cisco DNA Center Upgrade Guide [英語] |
| Cisco DNA Center GUI とアプリケーションの使用について。 | Cisco DNA Center User Guide [英語] |
| ユーザアカウント、セキュリティ証明書、認証およびパスワードポリシー、バックアップと復元の設定について。 | Cisco DNA Center Administrator Guide [英語] |
| セキュリティの機能、強化、ベストプラクティスを通じて安全に展開する方法について。 | Cisco DNA Center Security Best Practices Guide [英語] |
| サポートされているデバイスについて（ルータ、スイッチ、ワイヤレスAP、ソフトウェアリリースなど）。 | Cisco DNA Center Compatibility Matrix [英語] |
| Cisco SD-Access 向けハードウェアおよびソフトウェアのサポートについて。 | Cisco SD-Access Compatibility Matrix [英語] |
| Cisco DNA アシユアランス GUI の使用について。 | Cisco DNA Assurance User Guide [英語] |
| Cisco DNA Center プラットフォーム GUI とアプリケーションの使用について。 | Cisco DNA Center Platform User Guide [英語] |
| Cisco DNA Center プラットフォーム リリース情報（新機能、展開、バグなど）。 | Cisco DNA Center Platform Release Notes [英語] |
| Cisco Wide Area Bonjour アプリケーション GUI の使用について。 | Cisco Wide Area Bonjour Application User Guide [英語] |
| Cisco DNA Center での Stealthwatch Security Analytics Service の使用について。 | Cisco Stealthwatch Analytics Service User Guide [英語] |
| Cisco DNA Center での不正および aWIPS 機能を使用した脅威の監視について。 | Cisco DNA Center Rogue Management and aWIPS Application Quick Start Guide [英語] |

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

The documentation set for this product strives to use bias-free language. For purposes of this documentation set, bias-free is defined as language that does not imply discrimination based on age, disability, gender, racial identity, ethnic identity, sexual orientation, socioeconomic status, and intersectionality. Exceptions may be present in the documentation due to language that is hardcoded in the user interfaces of the product software, language used based on standards documentation, or language that is used by a referenced third-party product.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。